

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人つながり 夢生民		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労支援事業と共有スペースがあるため、学齢期だけではなく成人の方との交流ができています。子どもたちは、「こんな風に働いてみたいな。かっこいいな」と将来の仕事にイメージを持つことができている。ご家族も同様である。	夏休み等長期休暇の際には、カフェで『お仕事体験』を行っている。また、子どもたちが企画する『子ども祭り』等に就労支援のメンバーやご家族も一緒に参加し、子どもから大人まで(高齢の方も含めて)いろんな人の中で育っていくことを意識している。	子どもたちの将来の姿を想像し、子どもたち自身やご家族、職員が共通の思いと意識で支援を行うことができるようにより深く丁寧な話し合いの場を設けていく。
2	カフェと併設されているため、相談しやすい雰囲気である。お客様として来られた方の子育ての相談を受けたり、放課後ディの活動を実際に見ることで利用につながっている。	個室にて相談者のお話をゆっくり聞くことに努めている。必要があれば、関係機関につなぎ連携した支援を行うことができるように意識している。 放課後ディの活動フロアは、常にオープンにし誰でも立ち寄ることができて一緒に遊ぶことができるようにしている。	不登校の子どもたちの相談、利用が増えている。相談事業所、学校など関係機関と連携を図っていく。子どもたちが安心できる夢生民であり続ける。
3	子どもたちのやりたいこと、チャレンジする気持ちを大切にしながら、自由な活動を取り入れている。	毎月活動予定、プログラムを決めて『子どもカレンダー』を発行している。その際、季節感を大事にすること、子どもたちの興味関心があるものを取り入れることを心がけている。時には子どもたち自らがやりたいことを出し合い、カレンダーを作成している。	左記を継続する中で、マンネリ化することなく、より一層、創意工夫し、子どもも職員も、わくわくドキドキを楽しんでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル等の職員、家族への周知徹底ができていない。	各マニュアルの見直しを行い、事業所の実態にあったものを作成していく。そして、全職員への周知を行い、それをもとに有事の想定を行い、担当者を決め定期的に訓練をしていく。ご家族との面談の際に、個別支援計画とともに説明をしていく。
2	家族会やご家族が参加できる研修や学びの場の提供	家族会の設定は試みたが、開催日時、参加人数、テーマ等が定まらず開催に至っていない。また、近年のコロナ感染症もあり開催の難しさは感じている。個別の相談には対応できている。	ご家族の要望をお聞きして対応していく。成年後見制度について、知りたいとの声が上がってきたため、ご家族と職員の研修会を実施していくことを検討中。
3			